



ハートネットTV 「中絶という、痛み」

見過ごされてきた心と体のケア～罪悪視する社会の中で～

放送日：2019年5月8日 放送時間：29分

対象校種 高校

対象教科 保健 家庭 学級活動

この番組の良さ

● 「生」と「性」について考える番組です

番組冒頭に、人工妊娠中絶16万4621件(平成29年厚生労働省)の現状が映し出されます。身体的・経済的理由で母体の健康を著しく害する恐れがある場合や性的暴力を受けて妊娠した場合など、中絶の背景には様々な事情があります。

番組では手術後のインタビューや病室で号泣しているシーンなど診療所で起きている現実が映し出されます。中絶を選択したことで、社会の中絶に対する罪悪視によって一生苦しむ人もいます。

そのような現状から「生」と「性」について考えを深めるきっかけとなる番組です。

● 中絶について正しい認識をする

中絶の手術自体は短時間で終了しますが、心と体に与える苦痛は計り知れません。番組では、電動吸引法による金属が子宮内膜を傷つけ一生妊娠できなくなるリスクなどを説明する場面があります。体のケアを踏まえ、中絶に対する正しい知識を身に付けられ、望まない妊娠を防ぐための学習教材として最適な番組です。

番組内で、医療現場の疑問の声として、「命の大切さがわかっているのか?」、「道徳と医療をごちゃごちゃにしている」など、今の中絶医療の現状を表す場面があります。中絶医療の現状と女性の権利等を考える教材としても学びの深まりが期待されます。

番組活用のポイント

● 経験者の言葉から『望まない妊娠について』考える

番組では、手術直後に「もうお腹にいないと思うと泣けてくる」とインタビューに答えている場面がありますが、中絶を選択したことで、この子を殺してしまったという罪悪感に苛まれ、消せない心の傷を負い、死ぬまで一生考えていくこととして重荷を背負うことになります。傷ついた女性には、心のケアと体のケアが必要になってきます。

また昨今では、新型コロナウイルス感染症による外出自粛・学校の休校措置等によって、10代の望まない妊娠の相談増加が社会問題となっています。

『自分の身体を守るの自分しかない』という番組での言葉を踏まえ、「望まない妊娠のために・・・」(仮)をテーマに、グループ協議をしたり、中絶手術や性感染症などのリスクについて話し合ったりする学習活動が考えられます。

妊娠や人工妊娠中絶について正しい知識を身に付けるための教材として本番組を活用することができます。

● パートナーとしてのあり方について考える

大学生Aさんの人工妊娠中絶を決めたきっかけは、パートナーの「子どもができたら絶対俺どっか行くわ」という一言でした。この言葉によってAさんは誰にも相談せず中絶を決め手術を受けていました。人工妊娠中絶のための自費診療10数万円を奨学金返済用から支払い、身体の痛みと消せない心の傷を負いました。

このようなパートナーの言動やコミュニケーションのあり方などを取り上げ、協議テーマにすることで、他人ごとではない自分のこととして考える教材として活用することも効果的でしょう。人として相手のことを尊重する態度と、自分を大切にすることの育成が期待されます。

ティーチャーズ・ライブラリーのラインナップであるETV特集「小さな命のバトン」の番組を合わせて活用することで、授業の幅が広がり学びが深まります。「いのちのつながり」、「いのちの尊さ」から「人間としての生き方」を学ぶ命の教育の教材として、系統的に取り組むことで効果が期待できます。



執筆者

大分県立津久見高等学校

指導教諭 森 浩三

『自分の身体を守れるのは自分しかない』 望まない妊娠について考える

対象校種

高校

対象教科

保健

家庭

学級活動

[授業時間 45分] まるごと視聴

学習者の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>1万件? 10万件? 見当がつかない?</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 年間にどのくらいの人工妊娠中絶が行われているか聞いてみる。
<p>人工妊娠中絶16万4621件(平成29年厚生労働省)資料提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 厚生労働省のデータを紹介する。番組冒頭の16万4621件(H29)のデータを活用する。
<p>とても多い 毎年の件数を 知りたい わからない?</p>	<ul style="list-style-type: none"> • この数値をどう思うか? 数人に聞いてみる。(人口妊娠中絶件数の推移を人口統計資料集(2020) 国立社会保障・人口問題研究所等を活用し紹介する。)
<p>どうして人工妊娠中絶をしなければならないのだろう?</p>	
<p>年齢が若い 学生である 経済的に 育てられない 性的暴行等による 望まない妊娠 その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 中絶手術を受ける背景にはどんな理由があるのだろうか? 自分の考えをワークシート等に出す。
<p>どうしたら望まない妊娠を減らすことができるのだろうか?</p>	
<p>番組(前編)をまるごと視聴する</p>  <p>手術経験者のインタビューのシーンなどに着目する</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 手術後のインタビューなど経験者の言葉に着目し番組を視聴する。
<p>「消せない心の傷を負う」という経験者の言葉から『望まない妊娠について』話し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 人工妊娠中絶手術の経験者の言葉から、望まない妊娠について考える場面を設定する。
<p>自己責任? 正しい知識を持っていない 手術には リスクを伴う? 誰にも相談 できない?</p>	<ul style="list-style-type: none"> • グループでの討議の場合、意見を出しやすくするためにフリートークなど制限をかけないように配慮する。
<p>望まない妊娠のために何か解決策があるはずだ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 時間により、パートナーの言動やコミュニケーションのあり方などを取り上げ、協議テーマにすることで他人ごとではない自分のこととして考える場面を設定してもよい。
<p>妊娠することや人工妊娠中絶手術の正しい知識を身に付けること</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手術には大きなリスクを伴うこと、中絶による心と体に与える影響が計り知れないこと • 自分ひとりだけの問題ではないこと • 人工妊娠中絶手術は、ひとつの命を奪うこと • 命のつながりを大切にすること など 	<ul style="list-style-type: none"> • 『自分の身は、自分で守る』ことを意識して、どのように守ればいいのか確認する。
<p>望まない妊娠を防ぐために、『性』と『生』についてもっと考えていかなければ!</p>	<p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 性別に関係なく、自分のこととして捉え『性』と『生』について主体的に取り組むことができたか。
<p>『性』と『生』について正しい知識を身につけ、豊かな人生を送るために考えよう</p>	